

# アート サイエンス ジェンダー

2019.8.28 (wed)  
14:30 ~ 京都 Annie's Cafe

内藤葉子

小山田徹

一方井祐子

酒井麻依子

ブブ・ド・ラ・マドレーヌ

CuBerry

※表記は講演者順です。

2018年、日本のジェンダーギャップ指数は149か国中110位でした。ジェンダーにまつわる偏見や差別は、長い時間をかけて深く根を伸ばしています。アートやサイエンスの分野も例外ではありません。本イベントでは、ジェンダー研究の今と、サイエンスとアートそれぞれの分野における現状を学び、その上で、そしてアートやサイエンスに関わる学生や若い世代が議論を通じてこの問題についての認識を深めることを目的としています。

【主催】アート×サイエンス×ジェンダー実行委員会

【共催】京都市立芸術大学自然科学研究室

【後援】大阪府立大学女性学研究センター

# アート×サイエンス×ジェンダー

こんなにもジェンダーギャップの激しい国で生きてきたというのに、そのおかしさや異常さに気づいたのは、本や母からの教え、講義で学んだ社会学を通じてだった。そういえば政治家はみんな男性だし、偉そうな会社の管理職も学校の教授も男性が多い。これは変だ、と知っていてもふとした瞬間こういった価値観は普通の感覚として自分の中にしっかり根付いているのを感じる。私は芸大で勉強をしている。時々感じるのはアート界が紛れもなく男性優位だということだ。活躍している先生やアーティストに男性が多いものだと思っていると、私には無理かもな、といとも簡単に思ってしまう。科学の分野もそうだろう。女性の数はいつだって少ない。圧倒的に男性が優先される世界で女性はずっとずっと軋んでいるのだ。常に軋んでいるものを感じるの難しい。しかし知ることはできる、知って、発信することはできる。そうすることで歪んだ地面の上でうまく立てずにいる人が、羽を自分からたたむのを止めたい。たたまさせない世界にしたい。私は多くのことを知りたい。知って、考えて、そうして作品を作っていきたい。

(河原雪花 京都市立芸術大学美術研究科修士課程 専門：映像制作)

サイエンスもアートも、常識や慣習にとらわれないことを良しとします。不正義で不合理な差別と偏見がこの社会に根付いているとき、サイエンスは理性と説得力をもって、アートは感性と表現力を持って、それに抗う存在であって欲しい。しかし現実には科学も芸術も、そのコミュニティの内部に問題を抱えています。サイエンスとアートの交流は様々な形で行われていますが、ジェンダーギャップ、専門家としての倫理、社会の中での立ち位置など、それぞれのコミュニティが抱える共通の課題についての知見や経験を交換するという試みは、これまであまりなかったのではないのでしょうか。本研究会がサイエンスとアートの世界におけるジェンダーにまつわる問題の理解を深める一助となると共に、サイエンスやアートを志す人々の交流につながることを期待しています。

(磯部洋明 京都市立芸術大学美術学部准教授 専門：宇宙物理学)

ここ数年で最も心を揺さぶられた本は、イ・ミンギョンの『私たちにはことばが必要だ：フェミニストは黙らない』です。どんな専門書やどんな小説よりも、私の行動や信念を具体的に覚えてくれました。その副題に呼応するように、6月に公開された実写映画「アラジン」でも、女性の置かれている状況が"speechless (言葉を奪われている)"という語で表現されていました。当然のように言葉が奪われている現実が、確かにあるのです。ただ、主タイトルの「私たち」という一人称複数形が示唆するように、言葉はひとりではできあがるものではありません。誰かとの交流の中で生まれるものです。#metooが「私も」というフレームで様々な声を引き出したように、言葉は誰かとの間で作られていくのだと思います。このイベントが、私たちが共同で多様な言葉を生み出す機会になることを願います。

(谷川嘉浩 京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程、京都市立芸術大学非常勤講師 専門：哲学・教育学)

【日程】 8/28

【場所】 京都アニーズカフェ

【タイムスケジュール】

14:00 開場

14:30 - 14:40 趣旨説明 (河原雪花)

14:40 - 15:10 講演 「現代世界とジェンダー：ジェンダー公正な社会は実現するのか」内藤葉子 (大阪府立大学 人間社会システム科学研究科准教授)

15:10 - 15:40 講演 「アートにおけるジェンダー問題」小山田徹 (京都市立芸術大学 美術学部教授)

15:40 - 16:10 講演 「サイエンスにおけるジェンダーギャップの現状」一方井祐子 (東京大学 Kavli 数物連携宇宙研究機構 特任研究員)

休憩

16:20 - 16:50 講演 「人文科学におけるジェンダーギャップ：女性哲学研究者の立場から」酒井麻依子 (立命館大学文学部 初任研究員)

16:50 - 17:20 講演 「私という身体におけるジェンダー」ブブ・ド・ラマドレーヌ (アーティスト)

17:20 - 18:15 グループディスカッション

18:15 - 19:00 パネルディスカッション (講演者+ファシリテータ：谷川嘉浩)

19:15 - 19:30 CuBerry によるライブパフォーマンス

～ 22:00 懇親会

【定員】 30名

【参加費】 研究会への参加費は無料です。

※懇親会参加者のみ 学生 1500円 / 大人 2000円 (ドリンクは別途料金がかかります。)

【申し込み】 氏名、所属、学年・職名、専門分野、懇親会への参加の有無を明記し、以下のアドレスまで電子メールでお申し込みください。

【申込・問い合わせ先】 asg@isobehiroaki.info

【HP】 <https://sites.google.com/view/art-science-gender/>



京阪電車 深草駅 徒歩 10分

京都市営地下鉄 くいな橋駅 徒歩 5分

〒612-8401

京都市伏見区深草下川原町51-4, サイラスノーム京都 B1F/B2F

TEL:09091633948

URL: <https://annies-kyoto.therestaurant.jp/>